

2011年5月15日

## 「真の誇り」ヤコブ1：9～11

I 「富んでいる人は、自分が低くされることに誇りを持ちなさい」：10。

「自分が低くされること」＝自分の罪深さや弱さを示され、へりくだされ、主を信じたこと。富が人を救うのでなく、神こそ人を救い、頼りになるお方と悟られ謙虚になること。このことこそ、真の栄光、誇りである。「なぜなら、富んでいる人は、草の花のように過ぎ去って行くからです」：10。それも「働きの最中に消えて行くのです」：11。突然の病気や事故による死やその人の富が、かえってその人の心を墮落させ、人生を高慢や姦淫、不品行の罪で踏み外すことによって。パレスチナ地方では、太陽が熱風を伴って上って来ると草を枯らす。人の命は、この草のようにはかない。人生の突然の風は、一時的に世にもてはやされている「花」を落とし、世の「美しい姿」を一瞬にして変えてしまう。それゆえに、頼りにならないこの世のものではなく、永遠に変わらない主（ヘブル13：8）と聖書の御言葉（イザ40：7，8）に拠り頼もう。いのちも、すべてのものも（太陽、光、空気、雨、地熱、風、土、地熱等。貴重なエネルギー源。安全な方法で活用できるもの。偉大な神の備えがある。国々が健全に活用できるように祈りたい。）与え主は神であることを決して忘れてはならない。「たましいよ。これから先何年分もいっぱい物がためられた。さあ、安心して、食べて、飲んで、楽しめ。」しかし、神は彼に言われた。『愚か者。おまえのたましいは、今夜お前から取り去られる』ルカ12：19，20。真の神は、私たちのいのち、すべてのものを支配しておられる。「あなたは、何か、もらったものでないものがあるのですか。なぜ、もらっていないかのように誇るのですか」Ⅰコリ4：7。私たちは、母の胎でいのちをいただいたときからすべてのものを神からいただいているのです。真の誇りは神のみ。

II 「貧しい境遇にある兄弟は、自分の高い身分を誇りとしなさい」：9。

「自分の高い身分」とは＝この世での社会的階級がどうあろうとも、主を信じて、主にある者として、「神の家族」（エペ3：19）、「神の子」という特権（ヨハネ1：12）、神の祝福を相続できる「相続人」（ローマ8：17）という身分が与えられている。そして、この世の富める人が持つ富以上に、神の下さる恵み、愛は計り知れず豊かであり、また余分なものではなく、本当に必要なものを神は与え続けてくださる。人と比べて多く持っていることを誇る人よりも、真に必要なものを日ごとに神に祈り求め、神から日ごとの糧を与えられ、それを心から感謝して生きる人、日々神による必要の満たしを感じながら生きる人は真に幸いな人。

III 真に満ち足りた人生の秘訣。次の御言葉を人生の土台として生きる

1. 自分の幸い度を人と比べて量ることをしない。「彼らが自分たちの間で自分を量ったり、比較したりしているのは、知恵のないことなのです」Ⅱコリ10：12。神は神のお考えで、私たちそれぞれに量って割り当てて与えておられる。そこに神を認め、神が量って割り当てられた分に満足し、心から感謝して、まず①神の分（「十分の一をことごとく、宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ。こうしてわたしをためしてみよ。…わたしがあなたがたのために、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかをためしてみよ」マラ3：10）を神にささげ、②

自分たち家族の必要に用い、③必要としている人々に分け与える。ささげものは、律法主義からではなく、神から受ける豊かな恵みから生まれる。「マケドニヤの諸教会に与えられた神の恵みを、あなたがたに知らせようと思います。苦しみゆえの激しい試練の中にあっても、彼らの満ちあふれる喜びは、その極度の貧しさにもかかわらず、あふれ出て、その惜しみなく施す富となったのです」Ⅱコリ8：1，2。

2. 満ち足りる心「満ち足りる心を伴う敬虔こそ、大きな利益を受ける道です。私たちは何一つこの世に持って来なかったし、また何一つ持って出ることもできません。衣食があれば、それで満足すべきです」Ⅰテモ6：6～8
3. 今持っているもので満足する、感謝する。「神は不品行な者と姦淫を行う者とをさばかれからです。金銭を愛する生活をしてはいけません。いま持っているもので満足しなさい。主ご自身がこう言われるのです。『わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない』ヘブル13：4，5
4. すべての与え主を忘れない。「富と誉は御前から出ます。あなたはすべてのものの支配者であられ、御手には勢いと力があり、あなたの御手によって、すべてが偉大にされ、力づけられるのです。今、私たちの神、私たちはあなたに感謝し、あなたの栄に満ちた御名をほめたたえます。まことに、私は何者なのでしょう。このようにみずから進んでささげる力を保っていたとしても。すべてはあなたから出たのであり、私たちは、御手から出たものをささげたにすぎません」Ⅰ歴代29：12～14
5. 感謝の心を持つ「感謝の心を持つ人になりなさい」コロ3：15。心の中の感謝のボタンを押すか、不平不満のボタンを押すかは、私たち次第。他人と比べて貧しいか、金持ちかではなく、神が自分に分け与えておられるものを一つ一つ数え心から感謝する人は、真に心の豊かな人です。

祈り：内住の聖霊様の助けを求め、神と人への感謝の心を持つ人に変えられ続けますように。